



2022年12月期 第3四半期 業績説明資料

2022/11/08

アース製薬株式会社



『BARTH』事業譲渡契約の締結



事業譲受の意義・目的

【戦略的意義】

- **BARTHの「世界観」・「ブランド価値」の獲得**
 - ▶ BARTHは、「美容」・「睡眠」・「リカバリー」を切り口にお客様の潜在ニーズを喚起し、バスタイムからスリープタイムまでの「ナイトルーティン」を訴求し、独自の世界観を確立
 - ▶ 本事業譲受により、入浴剤をはじめとする“製品”そのものに加え、これまでに構築した独自の世界観・ブランドおよびマーケティングノウハウを獲得する

【将来構想】

- **ノウハウを活かした収益性の向上／既存製品とのシナジー発揮**
 - ▶ BARTHの「デザイン性」、「機能性」、「コンセプト」、「中～高価格帯」による差別化で創られた世界観をベースに、「BARTHブランド」×「当社既存 or 新規カテゴリー」の製品を生み出し、高価格帯での製品展開による収益性の向上を視野に入れる。
 - ▶ 当社既存カテゴリーにおいてもシナジー発揮を目指す

- **譲受事業の内容**

- ▶ 薬用BARTH中性重炭酸入浴剤、その他中性重炭酸を配合した商品、及びその他「BARTH」ブランドの製品の開発、製造及び販売事業並びにこれらに関連する事業

- **譲受対象資産**

- ▶ 譲受事業に関連した棚卸資産、無形固定資産

- **直近の事業売上高**

- ▶ 1,838百万円（2022年8月期）

- **譲受価額**

- ▶ 当事者間の取り決めにより、非開示

今後の日程、会計上のインパクト

- **日程**

- ▶ 事業譲渡契約の締結 2022年11月8日（本日）
- ▶ クロージング予定日 2023年 3月1日

- **会計上のインパクト**

- ▶ 本件が今期の連結業績に与える影響は軽微
- ▶ 来期以降のれんを計上見込み、のれんの計上額については精査中



2022年12月期 第3四半期業績説明

エグゼクティブ・サマリー ① (計画比)



• 業績の状況

- ▶ 売上高 : 1,244億円、計画比▲ 2.1%
- ▶ 営業利益 : 120億円、計画比▲ 14.2%

(対計画)

- ▶ 粗利益が**30億円の下振れ**
 - 虫ケア用品の売上が、天候不順による市場低迷の影響を主因に36億円の計画未達、日用品・海外の売上増はあったものの、虫ケア用品の未達分をカバーしきれず、「売上計画の未達影響」、「カテゴリ構成比の変化」合わせて**▲21億円**
 - 原材料価格高騰・為替変動の影響額は3Q時点で**▲9億円**
- ▶ 経費コントロールなどにより販管費を**10億円節減**

エグゼクティブ・サマリー ② (前期比)



• 業績の状況 ※ 前期実績は本年の基準を適用したと仮定し、調整

- ▶ 売上高 : 1,244億円、前期比* + 1.9%
- ▶ 営業利益 : 120億円、前期比* ▲19.4%

(対前年)

- ▶ 粗利益が10億円の減少
 - 天候要因に伴い虫ケア用品の売上が減少する一方、日用品の売上が増加、「増収に伴う利益増」と「カテゴリー構成比の変化」が相殺し、▲1.7億円の影響
 - 原材料価格高騰・為替変動により、▲12.4億円の影響
 - 新規連結・為替変動による上乗せ効果 + 3.5億円
- ▶ 販管費が18億円の増加
 - 人件費 : + 7.5億円
 - 物流費 : + 3.9億円
 - 旅費交通費 : + 3.2億円

業績ハイライト



(単位：億円)

- 3Q時点では実質的に増収・減益、営業利益は計画に対して14%の未達
- 収益源である虫ケア用品の未達に加え、原材料価格高騰の影響を受ける

「収益認識に関する会計基準」適用後

	実績	計画比	前期比*	ポイント
売上高	1,244	97.9%	101.9%	<ul style="list-style-type: none">虫ケア用品は市場の低調に影響され、想定を下回る推移新規連結効果+3.7億円、為替変動効果+15.1億円
売上総利益	530.8	94.6%	98.0%	<ul style="list-style-type: none">原材料価格高騰・為替変動による影響：計画比▲9億円セールスマックス
販管費	410.6	97.9%	104.7%	<ul style="list-style-type: none">計画の範囲内で適切に運用期末にかけて調整を検討
営業利益	120.1	85.8%	80.6%	<ul style="list-style-type: none">3Q計画に対して19.8億円の未達リカバリ策を遂行中
税引前 四半期純利益	128.4	91.2%	84.5%	<ul style="list-style-type: none">為替差益：5.3億円を計上特筆すべき特別利益・特別損失の計上なし

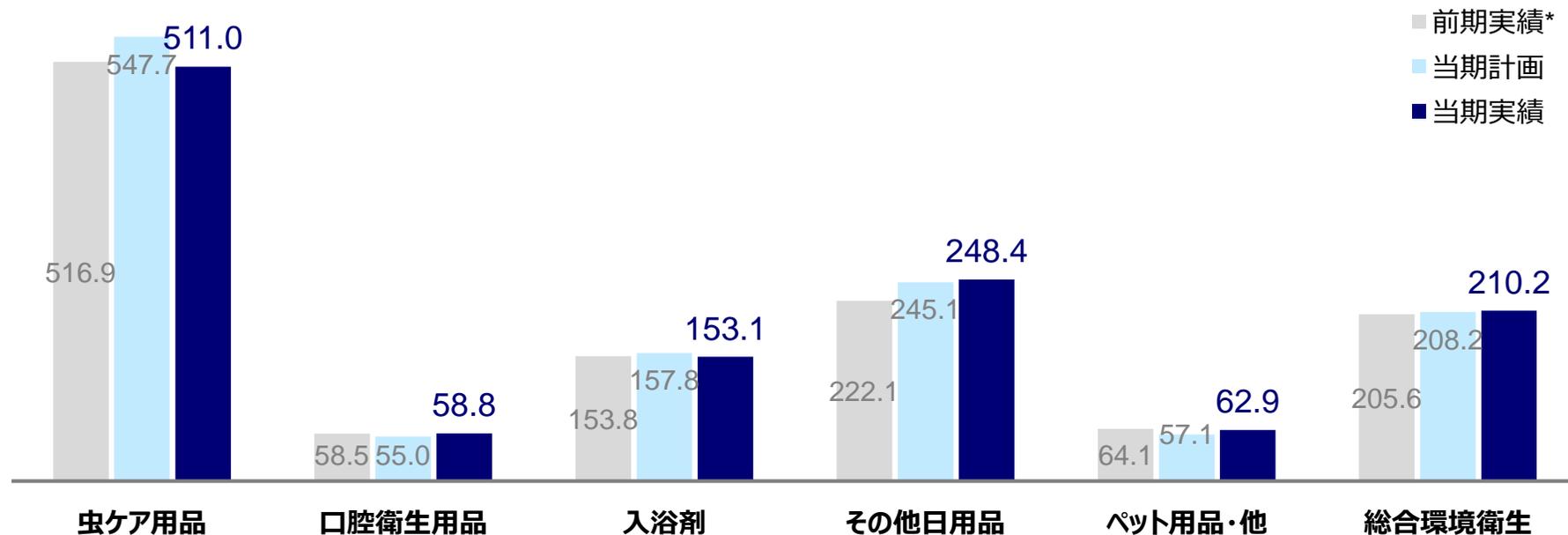
部門別売上高



*外部顧客向け（内部相殺分除く）

（単位：億円）

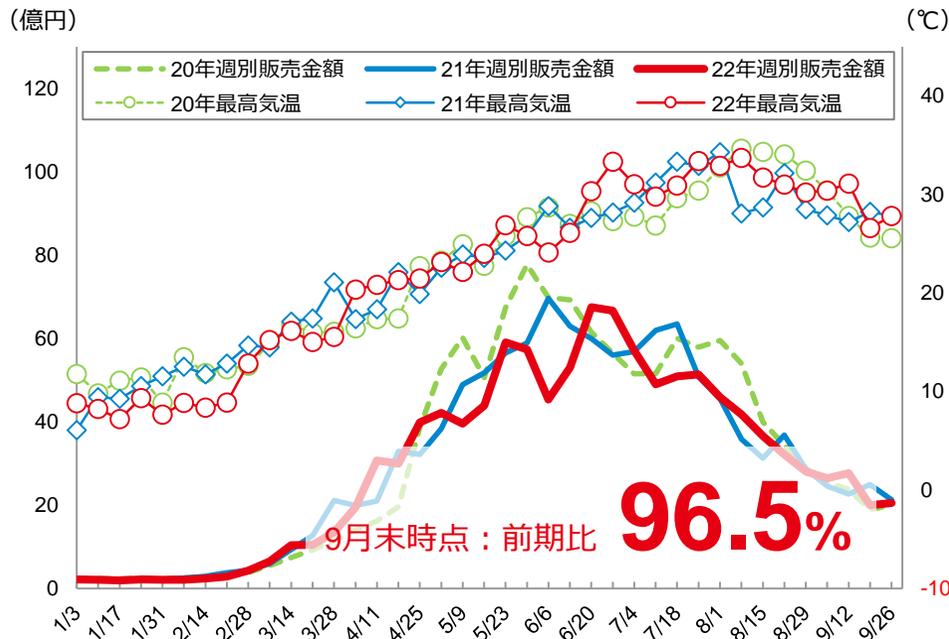
- 天候影響により、虫ケア用品が前年・計画ともに下回って推移
- 過去2年高成長を続けた入浴剤は、前年同等の売上高を維持
- その他日用品は、為替変動によるプラス効果もあり、成長を継続



前期差額*	▲5.8	+0.2	▲0.6	+26.3	▲1.1	+4.5
計画差額	▲36.7	+3.7	▲4.6	+3.3	+5.8	+1.9

国内虫ケア用品の状況

市場動向



- ハエ・蚊用、ゴキブリ用が前年を下回る
- ダニ・不快害虫用、虫よけ用品は好調に推移

当社市場シェア (9月末時点)

55.7% ➔ 56.1%

基幹商品の動向

- アースノーマット

計画比 **89%**



- 虫よけネットEX

計画比 **95%**



新商品の動向

- マモルーム

計画比 **186%**



- ゼロデナイト

計画比 **263%**



原価の状況

- 原料、包材など全般的にコストアップ
- 円安による海上輸送費・コンテナ価格の高騰なども影響

原材料価格高騰の影響

3Q計画との差異額

利益影響額

▲9億円

通期計画との差異想定

利益影響額

▲15億円

【価格高騰している主な原材料・包材】

- 濃グリセリン（モンダミン・入浴剤）
- コハク酸・重曹（入浴剤）
- LPG（エアゾール）
- 樹脂（製品全般の容器・フィルムなど）

為替レートの当初想定との差異

通貨	予算レート		9月末レート	予算比
人民元	17.15	➡	20.37	+18.7%
USD	111.00	➡	144.81	+30.4%
THB	3.38	➡	3.81	+12.7%
VND	0.00505	➡	0.00607	+20.1%

為替変動による影響

- 取引規模の関係から、最も影響を受けるのは人民元の為替変動
- 現状のレートのまま年間推移すると計画比3~4億円のコストアップの可能性

販管費の状況

(単位：億円)

- 各費用とも概ね予算の範囲内で適切に執行
- 経費コントロールは引き続き実施

	2021年 3Q累計実績*	2022年 3Q累計計画	2022年 3Q累計実績	計画対比	ポイント
人件費	147.5	156.7	155.0	▲ 1.6	
運送費	32.2	34.5	34.7	0.2	
保管料	18.2	19.4	19.6	0.1	
広告宣伝費	56.2	61.3	55.9	▲ 5.4	投入タイミングの計画との期ズレによる下振れ
販売促進費	7.6	7.7	7.5	▲ 0.2	
研究開発費	20.3	23.0	21.5	▲ 1.5	
減価償却費	9.3	10.3	10.8	0.5	
のれんの償却費	14.1	4.4	4.3	0.0	(株)バスクリン のれんの償却が22.1Qで終了
旅費交通費	7.8	10.4	9.5	▲ 0.9	
交際費	2.0	3.6	3.6	0.0	
支払手数料	8.5	6.6	9.4	2.8	
販売手数料	5.1	9.5	9.8	0.2	
雑費	5.4	6.1	6.2	0.1	
その他	58.1	67.4	62.8	▲ 4.6	
販管費 計	392.3	420.9	410.6	▲ 10.3	

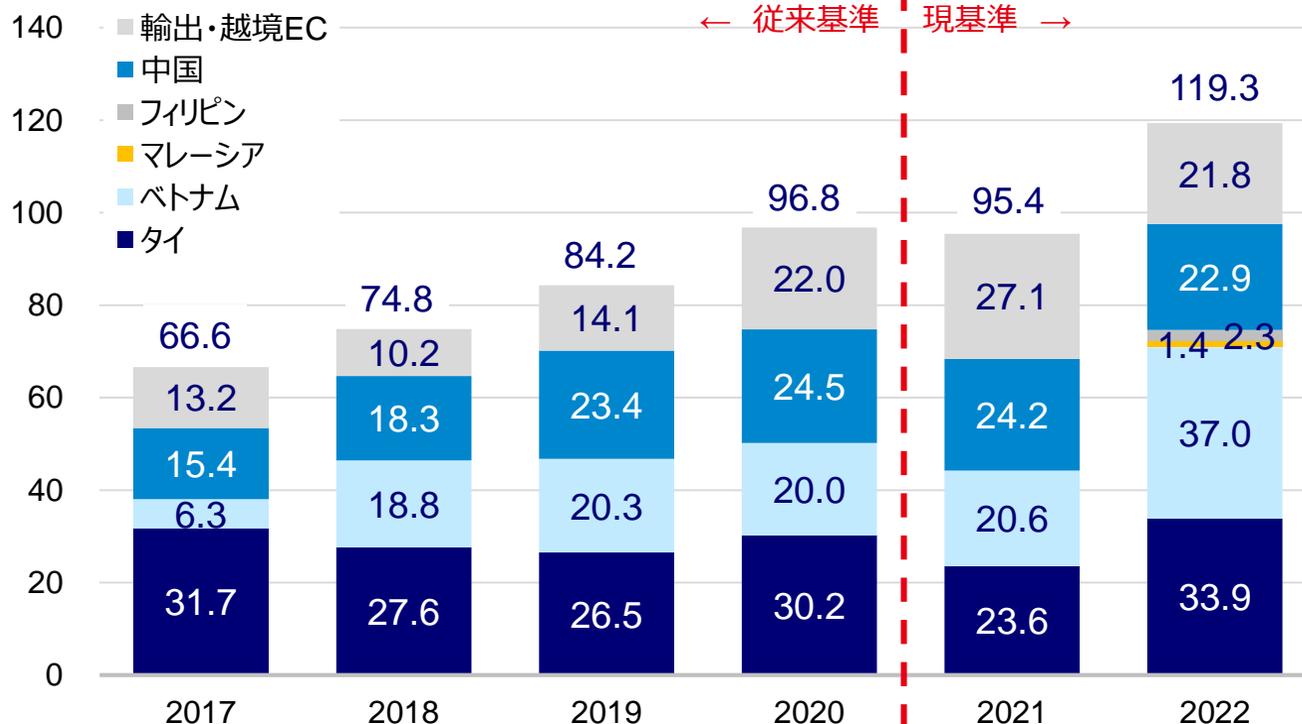
海外業績 (越境EC分含む)



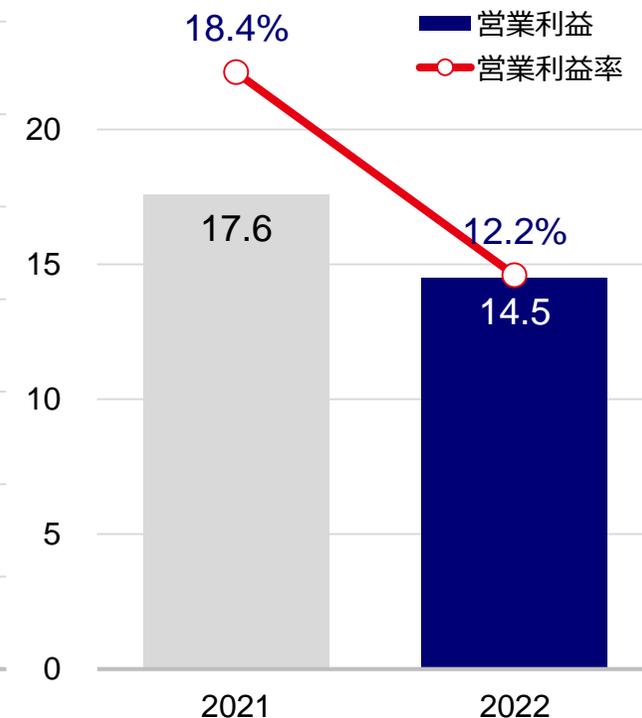
(単位：億円)

- 売上前期比*：125.1%、タイ・ベトナムの成長に加え、為替変動によるプラス（+15.1億円）、マレーシア、フィリピン現地法人の新規連結効果（+3.7億円）あり、実質前期比は105.3%
- 原材料・運賃等の高騰、高収益である国内からの輸出の前年割れにより、収益性はやや悪化

海外売上高 (第3四半期)



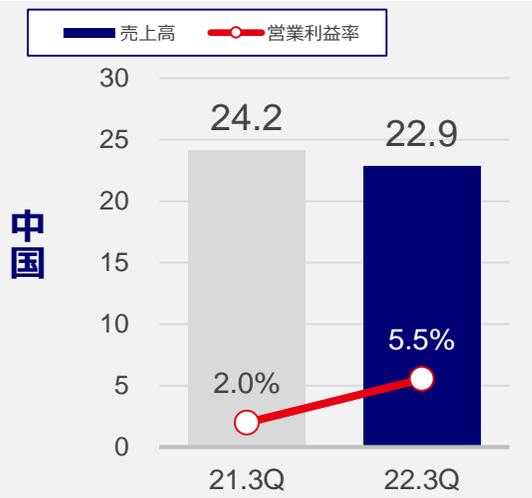
海外営業利益 (単純合算)



海外業績 (国別状況：中国)

現地法人業績* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：94.9%



計画に対する進捗

- ロックダウン解除後、販売回復傾向が見られたものの、行動制限や電力制限などにより流通在庫過多、売上低迷
- シーズン晩期でも需要のあるゴキブリ・ダニ用品で売上回復を図る



4Q以降の取り組み

- W11・在庫消化に向けた計画的な販促実施
- 新製品上市準備
- ゼロコロナ政策下での展開

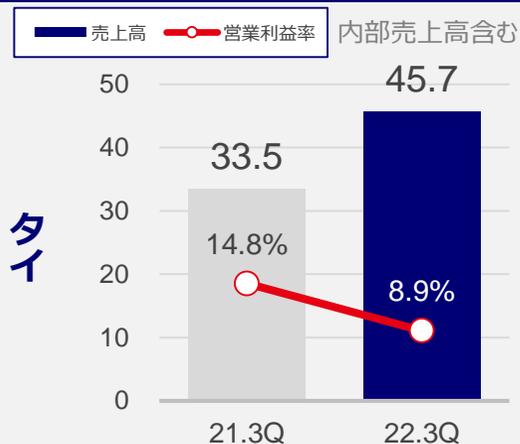
参考) ロックダウンなどによる影響

- 上海での長期ロックダウン解除後も、断続的に主要都市で封鎖・隔離が相次ぐ状態
 - リアル店舗での集客数低迷、ECチャネルの配送・配達不可、且つ食品配送が優先的な状況
 - ECチャネルは過剰在庫状態のため、出荷抑制
 - EC大手企業の消費者離れ
- 電力不足による工場稼働停止、小売店などでの時短営業・休業などが発生

海外業績 (国別状況：タイ・ベトナム)

現地法人業績* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：143.6%



計画に対する進捗

4Q以降の取り組み

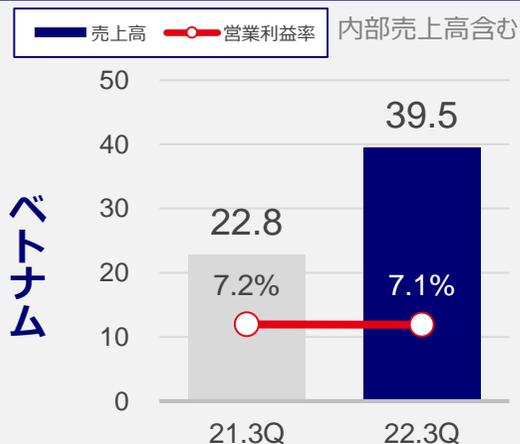
- タイ国内売上が順調に拡大
- 原材料価格高騰、為替変動による影響が顕在化、販管費コントロールするものの、利益計画を下回る

- 虫ケア用品 No.1シェアへ挑戦
- OP-T (地方) チャンネルの展開強化
- 公的機関・近隣小売業と連携したCSR活動の実施



現地法人業績* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：179.4%



計画に対する進捗

4Q以降の取り組み

- 昨年のロックダウンの反動、市場回復に伴い、ベトナム国内売上が順調に拡大
- 原材料価格高騰などにより収益性は計画に対してやや下振れるも、利益計画は達成
- 床用、食器用クリーナーの値上げ

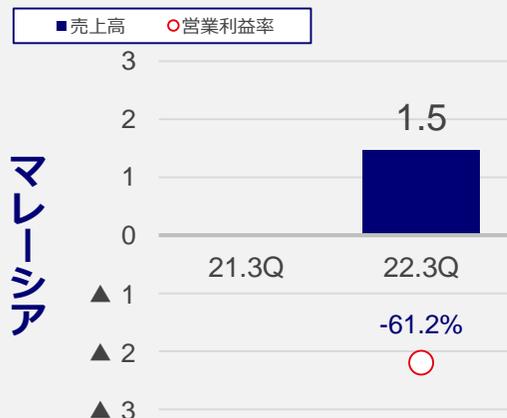
- 芳香剤シェアの上昇
- コストダウン策の実施 (虫ケア用品溶剤変更)
- 原価高騰などによる影響をカバーする費用コントロールの実施



海外業績 (国別状況：マレーシア・フィリピン)

現地法人業績 (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：—



計画に対する進捗

4Q以降の取り組み

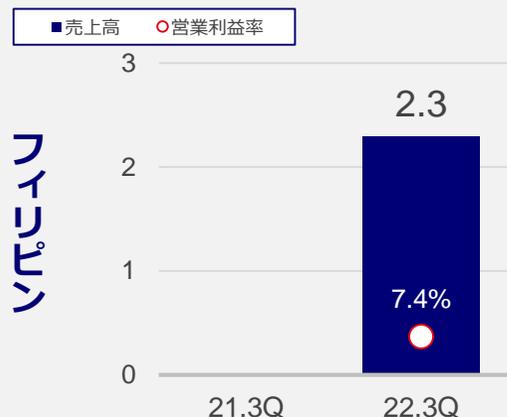
- 新製品 (ARS) や既存品がの販路拡大に向けたプロモーション展開により売上は計画を超える水準
- 原材料価格高騰の影響が顕在化
- プロモーション強化により販管費増



- 販路拡大に向けたプロモーション継続
- 芳香剤・洗剤の積極プロモーション
- 原材料価格高騰による調達コストの上昇見込む

現地法人業績 (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：—



計画に対する進捗

4Q以降の取り組み

- 22.3QよりPL連結
- 芳香剤、虫ケア用品を市場投入
- コスト増への対応策として値上げ実施
- 社内管理体制の整備



- 新製品投入
- アースブランドの認知拡大
- 収益性改善
- 統合シナジーの発現 (既存品の生産移管など)

2022年 通期業績見通し

- 業績見通しについて、現時点では変更しないが、足元の状況に鑑み精査中

2022年 計画		2021年12月期 業績説明資料より再掲載		
(単位：億円)				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料価格高騰の影響を受けるほか、成長に向けて必要な費用を適切に投入 ■ 厳しい環境下の中、100億円超の営業利益かつ過去最高の純利益を目標とする 				
	2022 計画	ポイント	2021 実績	2022 計画
売上高	1,550	・ 実質+73億円、平年並みの天候を前提とした市場予測 ・ 虫ケア用品返品率：6.5% → 6.0%へ	2,037	2,110
売上総利益	668.5	・ 原材料価格高騰によるコスト増：▲12.5億円と想定 ・ 粗利増は確保するものの、利益率は若干の低下見込み	823.3	850.5
販管費	561.0	・ 研究開発、基幹システムの改修に係る費用など ・ 将来成長に向けた費用を積み増し	716.6	743.0
営業利益	107.5	・ 2021年と同水準の営業利益を確保	106.6	107.5
親会社株主帰属 当期純利益	72.8	・ 過去最高益	71.4	72.8
ROE	12%台	・ 2021年と同等の資本効率を目指す	12.4%	12%台
(参考) 従来基準				
© Earth Corporation All Rights Reserved.				

投資案件の進捗状況

- 資本効率を意識し、収益成長に向けた投資を実施。案件ごとにハードルレート（7%を目安に案件ごとのリスクを考慮）を設定し、投資採択基準に基づく意思決定プロセスを適切に運用

【投資の状況】

主な投資案件	目的	2022年				2023年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
・ フィリピン現地法人M&A	・ アジア収益基盤の拡大の一環	★	---	---	---	---	---	---	---
・ 『BARTH』事業譲受 NEW	・ 事業成長に向けた ブランドラインナップの拡張				事業譲渡 ★ 契約締結	クロージング ★ (予定)	---	---	---
・ 基幹システムの刷新	・ 生産・調達・販売物流など 多岐にわたる領域での効率化	---	---	---	---	---	---	---	★
・ 排水処理場の耐震補強	・ BCP対応				---	---	---	---	★
・ 入浴剤 生産ライン増設	・ 需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大	---	---	---	---	---	---	---	★
・ 虫ケア用品 生産ライン増設	・ 需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大							---	---
・ 徳島ペットランド・新研究棟建設	・ 研究施設等の刷新による 製品開発力の増強			---	---	---	---	---	★

Environment / Social

■ 専門部署の新設

- 社内体制を見直し、以下の部署を新設。全社一丸となり、取り組みの加速を目指す
 - サステナビリティ推進部：アースグループ全体でサステナビリティに係る取り組みを推進
 - 人財マネジメント部ウェルビーイング推進課：ダイバーシティ&インクルージョン、健康支援、働き方改革の推進

Environment

■ TCFD提言へ賛同

- 「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言へ賛同
- 持続可能な社会づくりを目指す上で、気候変動は重要な課題と認識
- 今後、TCFDが提言する情報開示フレームワークに沿った開示を行う

■ 環境に配慮した電力の導入

- 赤穂工場で使用する電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替え
- （株）バスクリン 静岡工場
で再生可能エネルギー由来の環境価値を付加したCO2フリー電気を100%導入

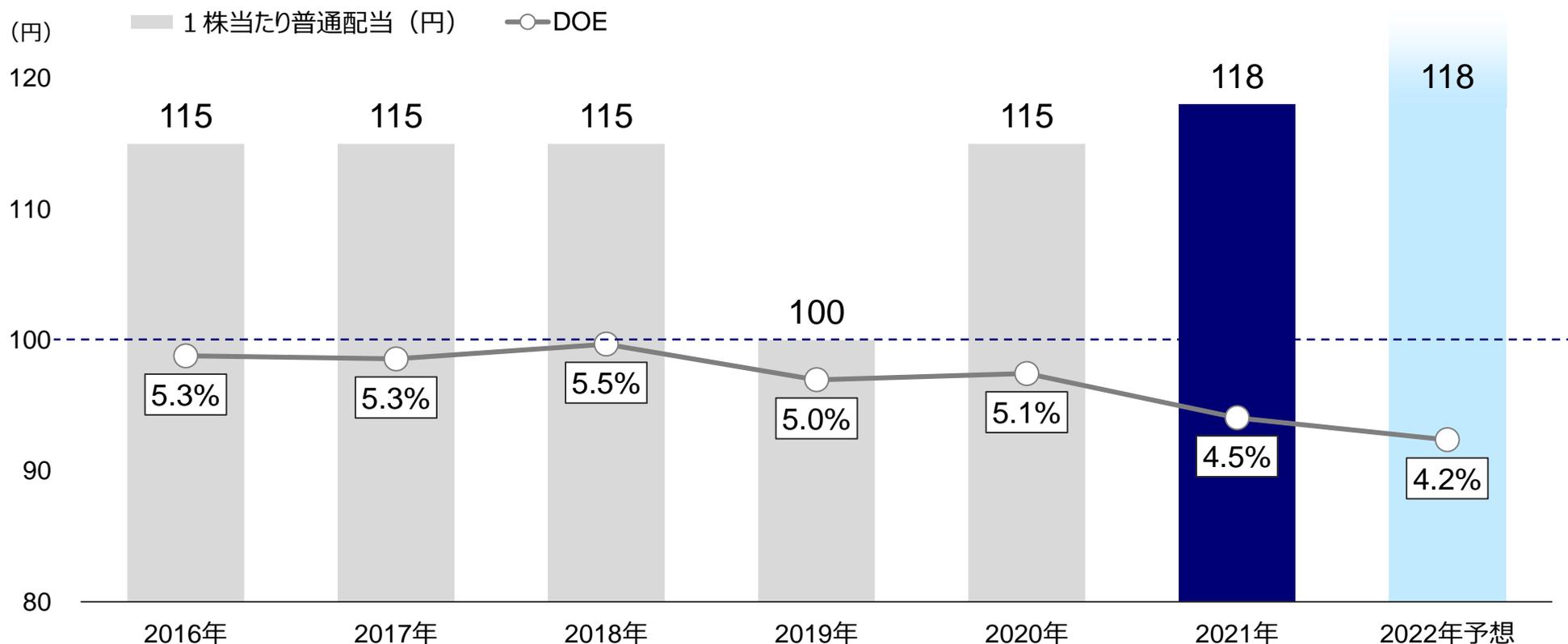
リリース：

<https://www.bathclin.co.jp/news/2022/0214>



株主還元

- 純資産配当率（DOE）4～5%を目安に配当
- 2022年予想 1株当たり配当金118円、DOE4.2%、連結配当性向35.8%
- 業績や必要な内部留保の水準に応じて、増配・自己株買いなど機動的に検討



地球を、キモチいい家に。



EARTH
Act For Life

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

APPENDIX.



アース製薬

「収益認識に関する会計基準」の適用に伴う影響

年間での想定影響

(単位：億円)

- 仲介取引、販売促進費の売上控除などにより、PL上は売上高・売上原価・販管費の見た目の数値に影響、営業利益以下の影響は軽微
- BSへの影響は軽微

	2021年実績 (従来基準)	2022年計画 (従来基準)	仲介取引分	販売促進費 (売上控除分)	2022年計画 (新基準)
売上高	2,037	2,110	▲ 378	▲ 182	1,550
売上原価	1,214.5	1,259.5	378		881.5
販管費	716.6	743.0		182	561.0
営業利益	106.6	107.5			107.5

販売促進費（売上控除）の計上タイミング

- 収益の実態をより適時に把握し、販促費の効率化を図るため、システムを構築
- 販促費の変動費用を販売計画に紐づく販促費用計画から合理的に見積もり、収益から控除
これにより、収益管理（部門別・取引先別）を強化した効率的なマーケティング施策を実施

販促費管理システム構築・運用（2019年～）

- 企業別、製品別の2軸で管理
- 「何に（どこに）」、「どれだけ」、「どのように」を明確にし、適切な効果検証が可能に

システム + 過去実績ベースによる管理精度UP

- 適切な販促費管理により、販促費の使途・期間が明確化される
- 販売予測・販促条件を過去実績に照らし、各取引における販促費の見積りを高精度で行い、売上計上のタイミングで売上控除

収益管理の仕組み再構築（2021年～）

- 事業部別、製品カテゴリ別の2軸で可視化
- より適時に、より精緻に収益状況を把握し、どのような状況下でも適切な施策を講じる
- 事業ポートフォリオ再編、資源配分の土台

**収益の実態を
より適時に把握できる体制へ**

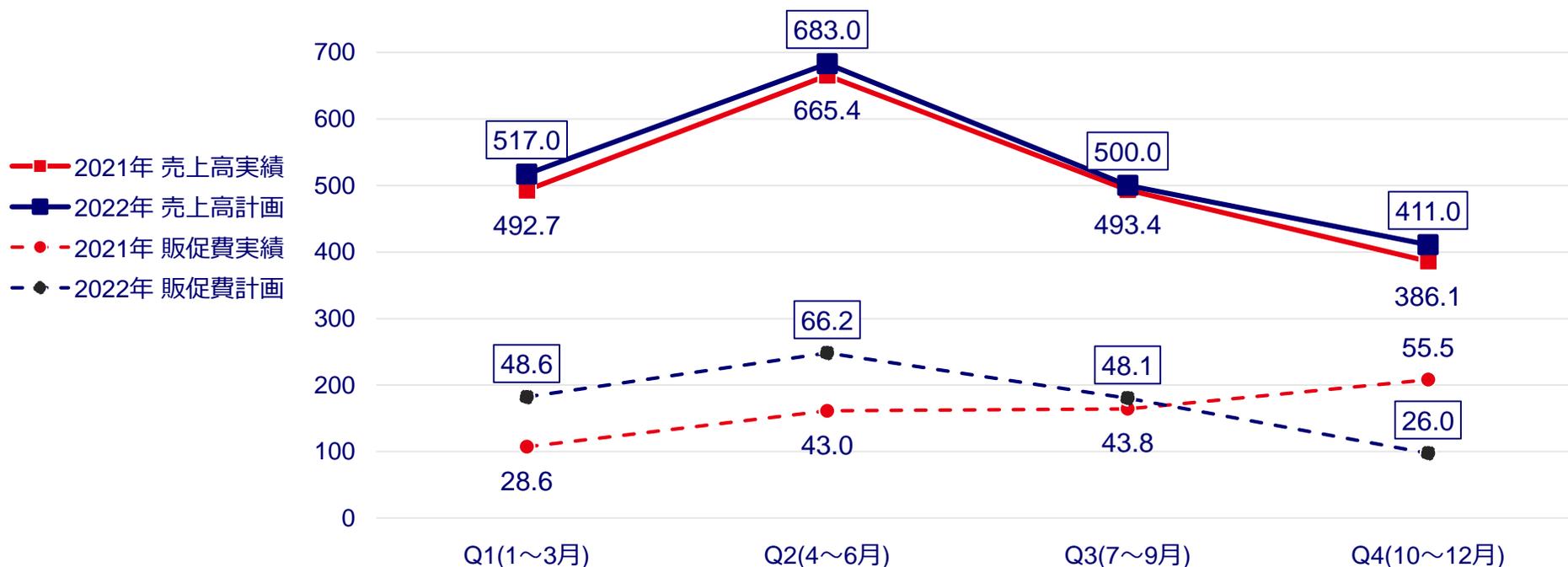
四半期別 販売促進費計画

従来基準比較*



(単位：億円)

- 今期より販売促進費の計上は、概ね売上高に比例したカーブを描くと想定
 - ➔ 季節性の高い売上推移に対して、費用計上がリンクし、従来に比べて利益が平準化
- 売上増に加え、強化カテゴリへの投下などを踏まえ、販売促進費の増加を見込んでいる



販促費_四半期別差額
21実績vs22計画

+ 20.0

+ 23.2

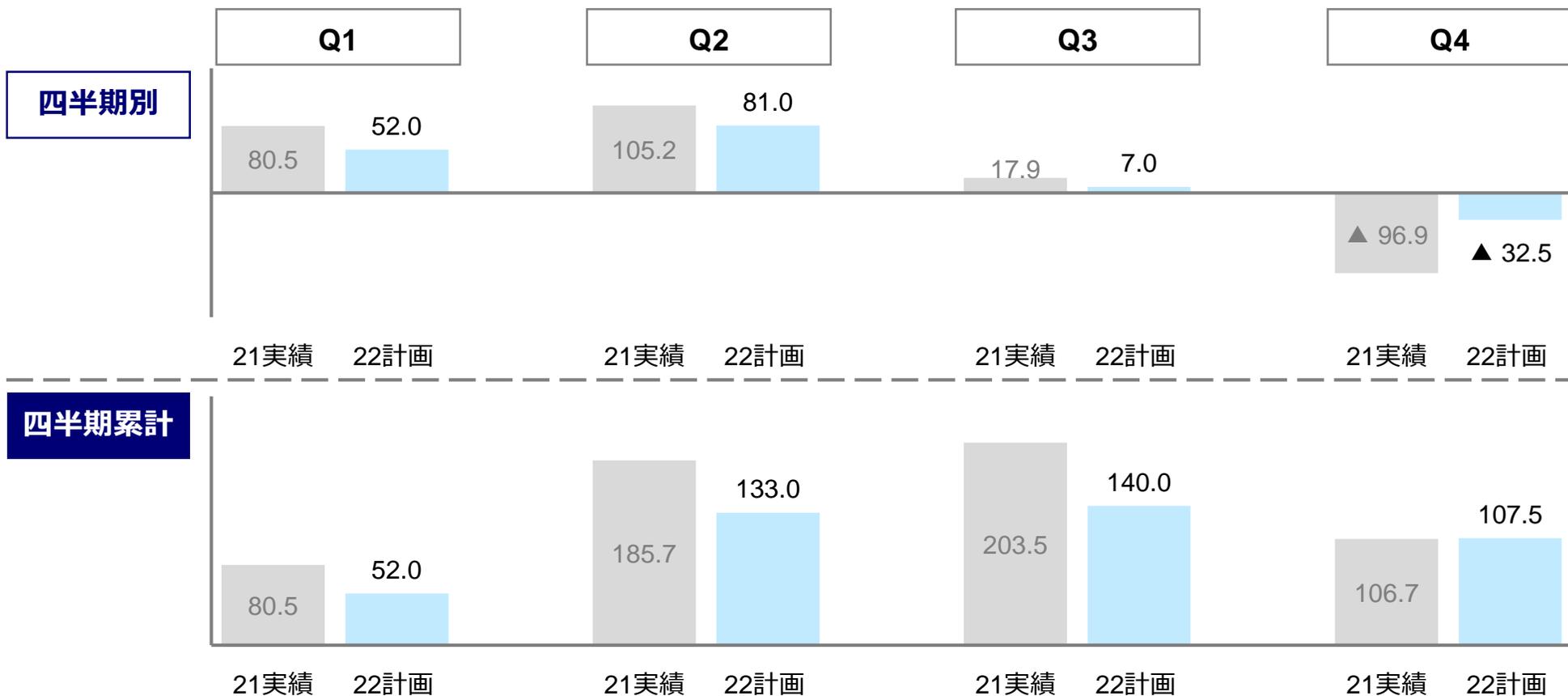
+ 4.3

▲ 29.5

営業利益計画（四半期別・累計）

（単位：億円）

■ 見た目上、第1～3四半期の営業利益は前年比で減少する計画だが、年間累計での影響は軽微



通期計画の達成に向けた取り組み

■ 当初計画外の新製品発売による売上拡大

- 当初計画には含めていないものも含め、秋に日用品の新製品66SKUをローンチ
- 売上高目標：26億円

■ 経費コントロールの実施

- 収益確保に向けた効率的な経費の活用を実施
- ただし、持続的な成長に必要な費用は積極的に投じる

■ 価格転嫁の先行実施

- 除湿剤、保温材など一部の日用品でこの秋から実施予定
- 海外では既に実施スタート



アース製薬

2022年12月期 3Q業績説明補足資料

【連結】損益計算書



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年		2022年		2021年	
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	進捗率	3Q累計実績**
売上高	122,102	127,100	124,445	101.9%	97.9%	155,000	80.3%	165,167
売上原価	67,949	71,000	71,362	105.0%	100.5%	88,150	81.0%	94,536
売上総利益	54,152	56,100	53,083	98.0%	94.6%	66,850	79.4%	70,631
販管費	39,238	42,099	41,069	104.7%	97.6%	56,099	73.2%	50,278
営業利益	14,913	14,000	12,013	80.6%	85.8%	10,750	111.8%	20,353
営業外収益	510	240	920	180.1%	383.4%	500	184.0%	510
営業外費用	48	60	33	68.8%	55.7%	100	33.4%	48
経常利益	15,376	14,180	12,899	83.9%	91.0%	11,150	115.7%	20,815
特別利益	147	0	25			0		147
特別損失	329	100	80	24.3%	80.3%	250	32.1%	329
税引前利益	15,193	14,080	12,845	84.5%	91.2%	10,900	117.8%	20,633
粗利率	44.4%	44.1%	42.7%	▲ 1.7pt	▲ 1.5pt	43.1%		42.8%
営業利益率	12.2%	11.0%	9.7%	▲ 2.6pt	▲ 1.4pt	6.9%		12.3%
税前利益率	12.4%	11.1%	10.3%	▲ 2.1pt	▲ 0.8pt	7.0%		12.5%

【連結】部門別売上高



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年		2022年		2021年	
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	進捗率	3Q累計実績**
虫ケア用品部門 計	56,684	58,711	56,517	99.7%	96.3%	61,431	92.0%	67,072
口腔衛生用品	5,867	5,513	5,910	100.7%	107.2%	8,280	71.4%	33,587
入浴剤	17,546	17,724	17,519	99.8%	98.8%	27,219	64.4%	19,686
その他日用品	23,647	25,806	26,300	111.2%	101.9%	33,792	77.8%	26,094
日用品部門 計	47,062	49,044	49,730	105.7%	101.4%	69,292	71.8%	79,368
ペット用品・その他部門 計	6,987	6,634	6,718	96.1%	101.3%	7,039	95.4%	7,375
家庭用品事業 計	110,734	114,389	112,966	102.0%	98.8%	137,763	82.0%	153,816
総合環境衛生事業 計	20,666	20,933	21,139	102.3%	101.0%	27,700	76.3%	20,650
内部売上高含む合計	131,400	135,322	134,105	102.1%	99.1%	165,463	81.0%	174,466
(調整分)	▲ 9,298	▲ 8,222	▲ 9,660			▲ 10,463		▲ 9,298
総合計	122,102	127,100	124,445	101.9%	97.9%	155,000	80.3%	165,167

(構成比) ※分母は内部売上高含む合計

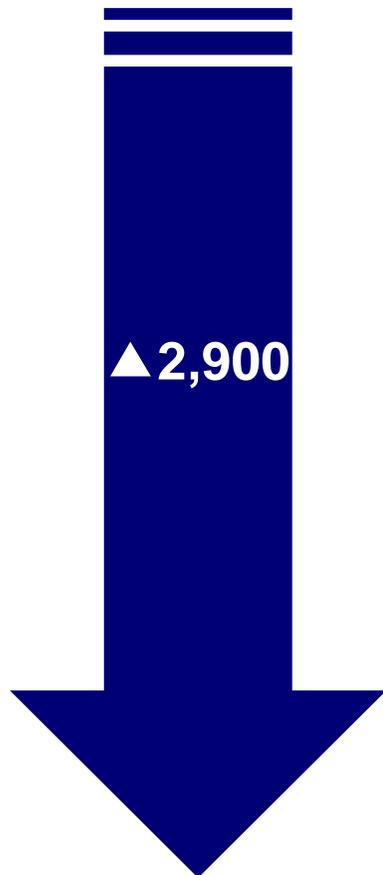
虫ケア用品部門	46.4%	46.2%	45.4%	▲ 1.0pt	▲ 0.8pt	39.6%	40.6%
日用品部門	38.5%	38.6%	40.0%	1.4pt	1.4pt	44.7%	48.1%
ペット用品・その他部門	5.7%	5.2%	5.4%	▲ 0.3pt	0.2pt	4.5%	4.5%
家庭用品事業	90.7%	90.0%	90.8%	0.1pt	0.8pt	88.9%	93.1%
総合環境衛生事業	16.9%	16.5%	17.0%	0.1pt	0.5pt	17.9%	12.5%

連結：営業利益変動要因（前期比）



（単位：百万円）

14,913 **21.3Q 実績***



12,013 **22.3Q 実績**

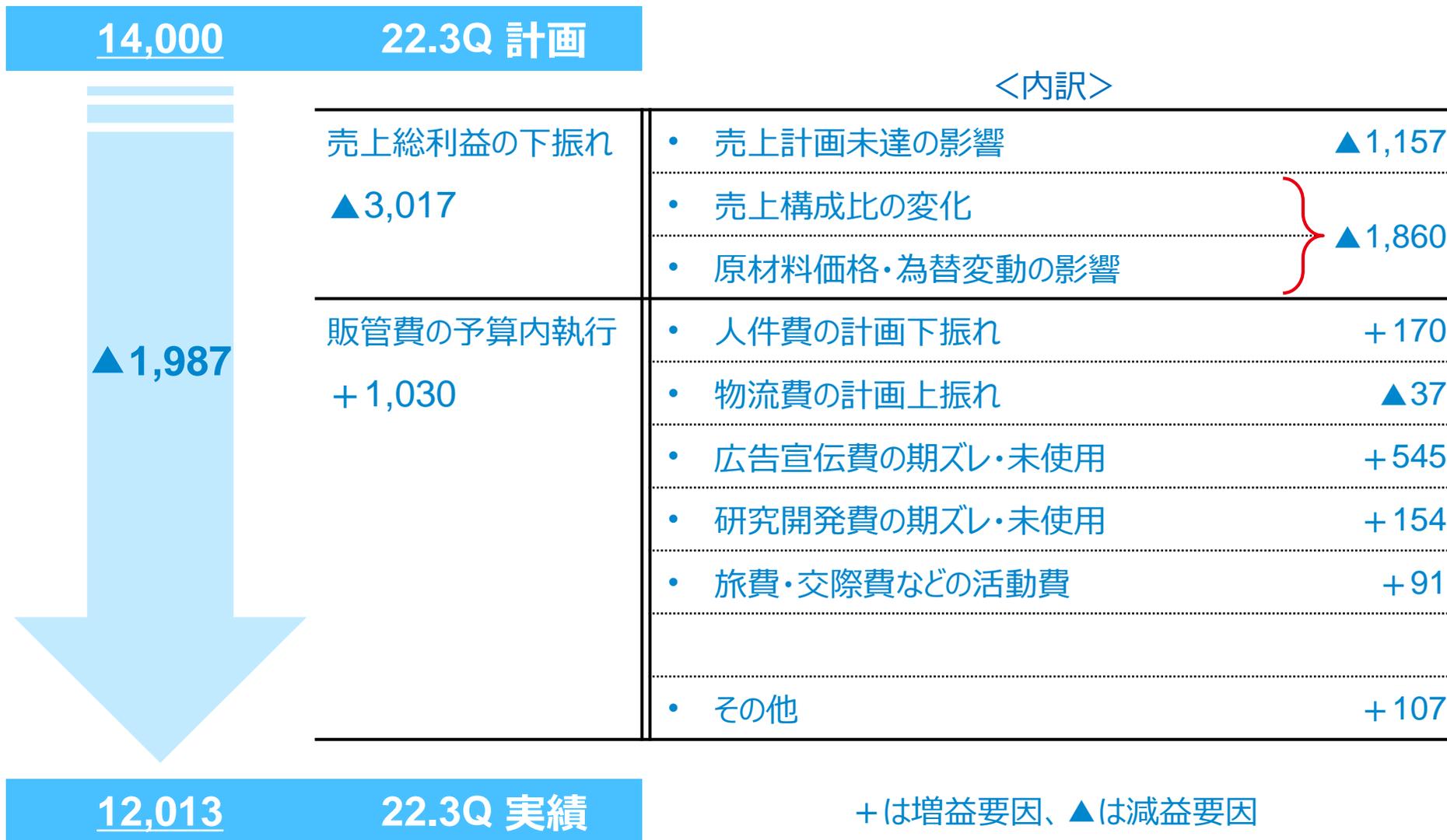
<内訳>

売上総利益の減少 ▲1,069	<ul style="list-style-type: none"> 増収効果 +1,079 売上構成比の変化 原材料価格・為替変動の影響 	} ▲2,148
販管費の増加 ▲1,831	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の増加 ▲757 物流費の増加 ▲390 広告宣伝費の減少 +34 販売促進費（売上控除以外）の増加 +18 旅費・交際費などの活動費 ▲327 支払手数料の減少 ▲83 その他 ▲326 	

+は増益要因、▲は減益要因

連結：営業利益変動要因 (計画比)

(単位：百万円)



【連結】販管費



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年	前期比	計画比	2022年	進捗率	2021年
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績			年間計画		3Q累計実績**
人件費	14,750	15,677	15,507	105.1%	98.9%	20,910	74.2%	14,750
運送費	3,225	3,453	3,476	107.8%	100.7%	4,449	78.1%	3,225
保管料	1,824	1,949	1,963	107.6%	100.7%	2,511	78.2%	1,824
広告宣伝費	5,627	6,138	5,593	99.4%	91.1%	8,120	68.9%	5,686
販売促進費	769	771	751	97.7%	97.4%	1,070	70.2%	11,546
研究開発費	2,032	2,306	2,152	105.9%	93.3%	3,386	63.6%	2,032
減価償却費	936	1,033	1,089	116.3%	105.4%	1,388	78.5%	936
のれんの償却費	1,413	444	439	31.1%	98.9%	450	97.6%	1,413
旅費交通費	784	1,048	953	121.6%	90.9%	1,393	68.4%	784
交際費	207	361	365	176.3%	101.1%	474	77.0%	207
支払手数料	858	661	941	109.7%	142.4%	1,372	68.6%	1,061
販売手数料	518	952	980	189.2%	102.9%	1,245	78.7%	518
雑費	541	612	626	115.7%	102.3%	1,028	60.9%	541
その他	5,754	6,694	6,234	108.3%	93.1%	8,303	75.1%	5,755
販管費 計	39,238	42,099	41,069	104.7%	97.6%	56,099	73.2%	50,278
(構成比)								
人件費比率	16.8%	17.1%	17.4%	0.5pt	0.2pt	13.5%		12.7%
広告宣伝費比率	6.4%	6.7%	6.3%	▲ 0.2pt	▲ 0.4pt	5.2%		4.9%
研究開発費比率	2.3%	2.5%	2.4%	0.1pt	▲ 0.1pt	2.2%		1.8%

【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)		2021年 3Q末	2022年 3Q末	前年同期比 増減額	2021年 期末
流動資産	現金及び預金	28,190	25,322	▲ 2,868	21,027
	売上債権	27,520	27,414	▲ 106	22,941
	たな卸資産	24,989	29,351	4,362	27,502
	その他	2,394	3,105	711	2,547
固定資産	有形固定資産	27,585	28,882	1,297	27,551
	無形固定資産	4,688	4,868	180	4,276
	投資その他の資産	13,472	15,995	2,523	14,868
資産 計		128,841	134,940	6,099	120,715
流動負債	仕入債務	33,959	36,467	2,508	32,449
	短期借入金	2,187	1,960	▲ 227	2,498
	その他	18,411	22,783	4,372	17,351
固定負債	長期借入金	1,440	480	▲ 960	1,200
	その他	2,213	1,957	▲ 256	2,618
負債 計		58,211	63,648	5,436	56,118
純資産	株主資本合計	64,430	62,963	▲ 1,467	57,537
	その他の包括利益累計額	1,584	3,482	1,897	2,421
	非支配株主持分	4,615	4,846	231	4,638
純資産 計		70,629	71,292	662	64,596

【連結】 設備投資額・減価償却費

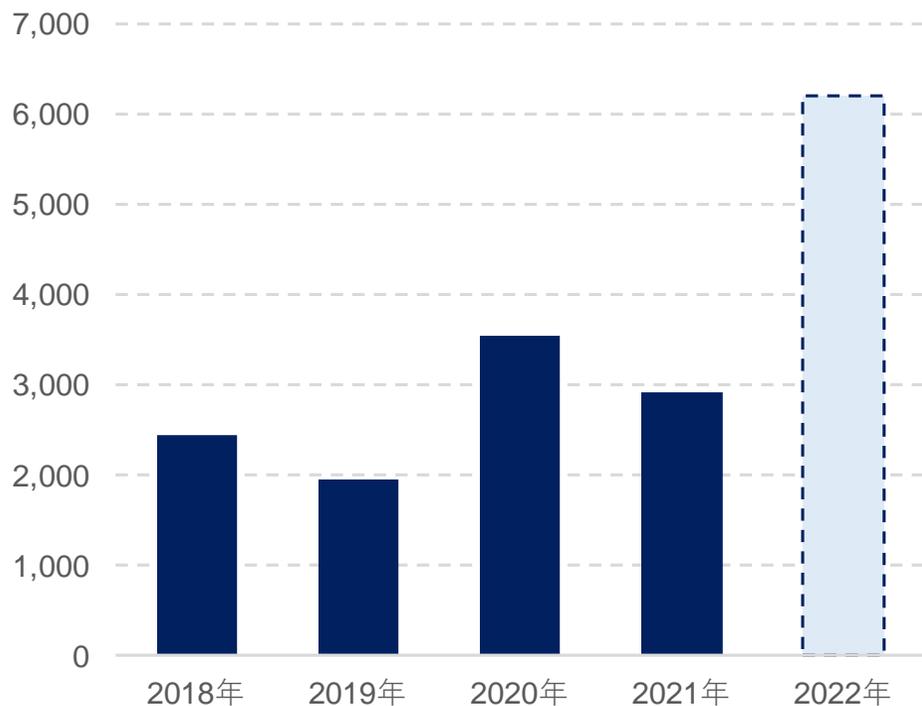


(単位：百万円)

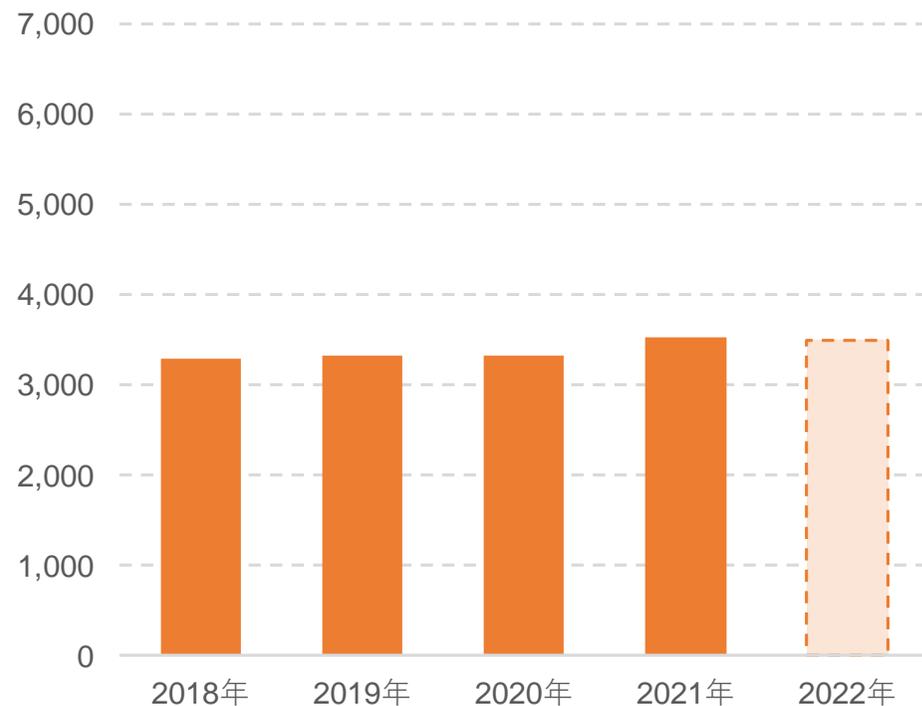
	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 計画
設備投資額	2,442	1,953	3,548	2,928	6,200

	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 計画
減価償却費	3,290	3,334	3,334	3,537	3,500

設備投資額



減価償却費



【グループ各社】業績概況



(単位：百万円)

アース製薬				バスクリン			白元アース			アース・ペット		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績
売上高	69,434	70,888	67,340	10,590	11,086	10,900	13,764	14,731	14,249	4,650	4,830	4,545
売上総利益	30,558	32,517	28,876	4,746	4,669	4,566	5,227	5,087	4,726	1,882	1,837	1,736
営業利益	11,245	10,789	8,390	1,084	802	725	1,444	999	840	528	374	405
Earth(Thailand)Co.,Ltd.				Earth Corporation Vietnam			EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA)			EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES)		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績
売上高	3,349	3,759	4,568	2,205	2,866	3,954	0	98	147	0	0	229
売上総利益	1,107	1,136	1,292	842	1,161	1,452	0	37	35	0	0	101
営業利益	495	317	405	158	182	282	0	▲ 71	▲ 90	0	0	16
安ス(上海)投資有限公司				天津阿斯化学有限公司			安速日用化学(蘇州)有限公司			アース環境サービス		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績	3Q累計実績*	3Q累計計画	3Q累計実績
売上高	2,167	2,138	2,161	2,928	2,483	3,154	1,271	1,041	1,305	20,666	20,933	21,139
売上総利益	565	543	633	562	311	530	306	145	247	8,354	8,732	8,795
営業利益	47	110	126	350	86	274	148	19	106	938	1,147	1,208